

出した値より大きい日を選ぶと、1カ月の快晴日の割合が判る。これを推定快晴日数とした。

### 8. 6月の一般的概況（気象要素について）

以上の3項から7項までの資料からみた Surabaya, Makasar, Port Moresby の6月は冬期のはじめにあたるが、気温の変化が小さく、Port Moresby の6月より12月が平均 $1\sim2^{\circ}\text{C}$ 高い程度で、いずれの地点も年平均 $26^{\circ}\text{C}$ 以上ある。湿度は変化小さく平均70%以上で高い。降水は shower 性の雨と squall と雷雨で、shower 性の雨が多く、夏期(12~2月)の月平均500mm台の降水に比べて約12%の降水で少ない。風の向きは東から南よりの風が卓越し、風力は Surabaya, Makasar の平均風力5, 2 knotsに対し Port Moresby が約8 knots 前後でやや強いが、静穏の日が多い年もある。雲は積雲系と上層雲が多く、雲量からみると殆んど晴の日となるが快晴率と合せてみると天気日数の快晴日数が平均40~50%と見込まれる。概して海洋気候と熱帯サバナ気候を合せた気象状態である。

### 9. おわりに

この資料からみた快晴日の決めては、日食帶に近い地点の6月の全天日射量資料があったことで、しかも、日食時の時刻が早い(現地時 11<sup>h</sup>30<sup>m</sup>) JAVA の Surabaya の快晴率(平均45~50%)が3地点のうち最も良いので幸いした。しかし年によっては平均率を下回る年もあり、上回る年もあって2年先の6月11日頃の確かな予測が得られない。静止気象衛星GMS(ひまわり)のデータを6月11日前後約10日間の毎日3時(GMT)について、赤道から南緯10度までの帶に入る地域を拡大した影像から雲量解析すれば快晴率が得られるが1978年から2年分の資料だけで今年も入れて3年で参考までにとどまる。気候学的にみた平年値のWMO統計年数は30年平均値を言い、現在の世界資料は1931~1960年まで、次回は1961~1990年、日本の資料は1941~1970年、その他観測所の累年平均資料である。この調査になるべく1983年に近づけるよう心掛けた。ご参考になれば幸いである。

### お知らせ

#### 三菱財団自然科学研究助成募集

上記について三菱財団より本会宛に募集要項が来ています。応募を希望される方は学会事務所に御連絡下さいか、個別に下記宛「三菱財団自然科学研究助成募集要項」を御請求下さい。

宛 先 財団法人 三菱財團

〒100 東京都千代田区丸の内 2-5-2

三菱ビルディング 15階 Tel. 03-214-5754

助成の金額は総額約1億円、1件2千万円以内、研究期間は原則として1年、応募締切は昭和56年5月20日。助成金贈呈は10月16日。

この助成金の趣旨は、自然科学の基礎分野における重要なかつ独創的な研究を助成して、わが国基礎科学部門の一層の向上、発展を期待することにあるとしています。本年度は十分野を重点的に助成の対象としていますが、その他の分野における研究も勿論選考の対象から除外するものではないとなっています。また助成金の用途は制限されておらず、設備費・消耗品費・旅費・謝金等いずれの項目についても申込むことができます。十の重点対象分野のうち多少とも天文学に関連して来そうなものは(1) 非線型現象の基礎的研究、(2) 固体表面など特殊条件下での新しい物質現象の研究、(3) 化学及び物性分野における新しい着想・新測定方法による研究、(4) 発生及び分化に関する研究などあります。

#### IUAA(国際アマチュア天文学連合)総会

日 時： 1981年8月3日~9日

場 所： ブリュッセル(ベルギー)

詳細は 〒243-02 神奈川県厚木市及川 1058

(電話 0462-41-1106)

森久保 茂 まで

☆ ☆ ☆

☆ ☆